

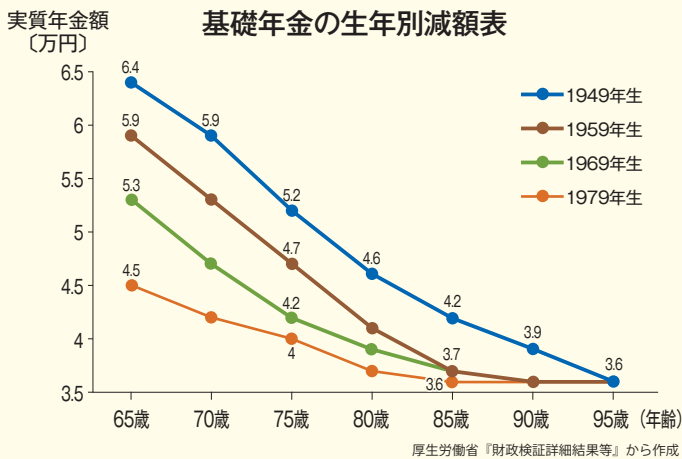
最低保障年金制度 の実現を

高齢者も若者も高齢期を安心して生活したい、というのは誰もの願いではないでしょうか。安倍政権は2016年度予算で防衛費を5兆円に増やす一方、医療・介護などの社会保障費の自然増を3年間で1兆4千億円も減らし、年金は、マクロ経済スライドを16年以降も発動し容赦なく削ろうとしています。

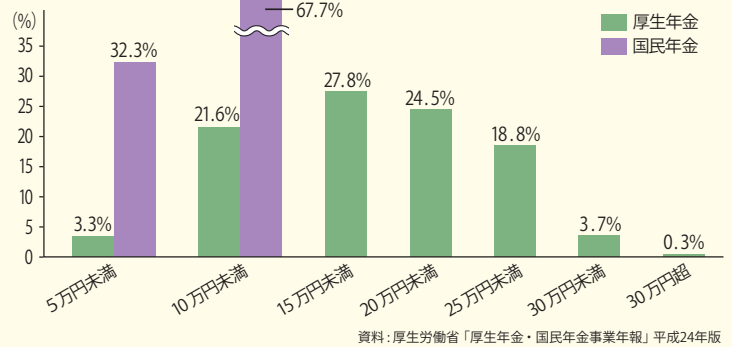
私たちは、ヨーロッパ各国で実施している最低保障年金制度を日本でも創設し、だれでも月8万円の年金を要求しています。

高齢者にとって年金は命綱

高齢者にとって年金は命綱です。現在、年金をもらっている人の半数近くが月額10万円未満です。2015年4月の老齢基礎年金額は満額で、1ヶ月あたり6万5千円で、基礎年金のみの受給で月額の平均が5万円弱の人は800万人もいます。65歳以上の高齢者世帯のおよそ4割が生活保護基準より低い収入で生活している「老後破産」状態です。子どもからの援助もなく、孤立する高齢者が増えています。



低年金の国民が大多数



「戦争法」を廃止し社会保障の充実を！

戦争法が強行採決され、自衛隊が新たな装備や訓練が計画され、軍事費の膨張は必至。財務省は、社会保障費の自然増を毎年3000億～5000億円規模で削ろうとしています。私たちの暮らしを守るためにも、戦争法はできるだけ早く廃止させる必要があります。



サークルで文化レク活動も

同じ趣味の仲間が集まってサークルを作り楽しんでいます。サークルにはカラオケから街歩き、古布遊び、健康麻雀、ハーモニカ、尺八、登山、旅行、かがやけ女性のつどいなど盛りだくさんで、楽しい高齢期を共有しています。こんな年金者組合で、あなたも一緒に楽しい人生を！

あなたも 年金者組合へ

ひとりぼっちの高齢者をつくらない

年金者組合は 定年後の生活を明るく健やかに過ごすため、病院への送迎など助け合いや文化・サークル活動などをとおして「一人ぼっちを作らない」運動に取り組んでいます。高齢者を「老後破産」「下流老人」に追い込んではいけません。

あなたも年金者組合に入りませんか

年金者組合は47都道府県に922支部があり11万5000人余が運動に参加しています。

一人ぼっちじゃない、町で、地域で仲間といきいき輝く人生を過ごしませんか。だれでも、いつでも気軽に入ることが出来ます。

あなたもぜひ年金者組合に入りませんか！